

いばらきのご案内

Ibaraki Prefecture at a Glance



茨城県



■知事ごあいさつ/県の概要



茨城県知事
大井川 和彦

急激な人口減少をはじめ、先行きの不透明さが増す世界経済、頻発化・激甚化する自然災害など、私たちを取り巻く社会情勢は急激に変化しており、乗り越えなければならない課題が山積しています。

茨城県では、この激動の時代の到来を見据え、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の3つの基本姿勢のもと、先手先手で、困難な課題に果敢に挑戦してきました。

その結果、2021年度の県民経済計算の推計結果における本県の経済成長率は国を大幅に上回り、1人当たりの県民所得は過去最高の全国第3位となりました。

また、県外企業立地件数は7年連続で全国第1位となったほか、外国人を含めた人口の社会増加数は、過去6年間にわたり全国上位で推移するなど、本県が人口減少に打ち勝つための重要な成果が次々と表れてきております。

今後も、持続的な賃上げの実現や、戦略的な企業誘致、儲かる農業の実現などを通じ、本県経済の成長を更に加速させるとともに、医療提供体制の充実や防災・減災対策の強化など安心安全につながる生活基盤の充実に取り組んでまいります。

さらに、魅力ある教育への改革や、ダイバーシティの推進などにより、多様な「人財」の活躍を促進してまいります。

このパンフレットは、茨城県の概要を分かりやすく紹介するために作成したものです。さまざまな機会にご活用いただければ幸いです。



■主要河川・山岳・湖沼

河川名	総流路延長 (幹川延長) (km)	茨城県内 流路延長 (km)
利根川	322	133.96
鬼怒川	177	62.84
那珂川	150	46.50
久慈川	124	70.03
小貝川	112	75.60

山岳名	標高 (m)
八溝山	1,022
高笹山	922
栄蔵堂	881
筑波山	877
和尚山	804
花園山	798
加波山	709

湖沼	面積 (km ²)
霞ヶ浦	168.22
北浦	35.04
常陸利根川	15.33
潟沼	9.35
牛久沼	6.52

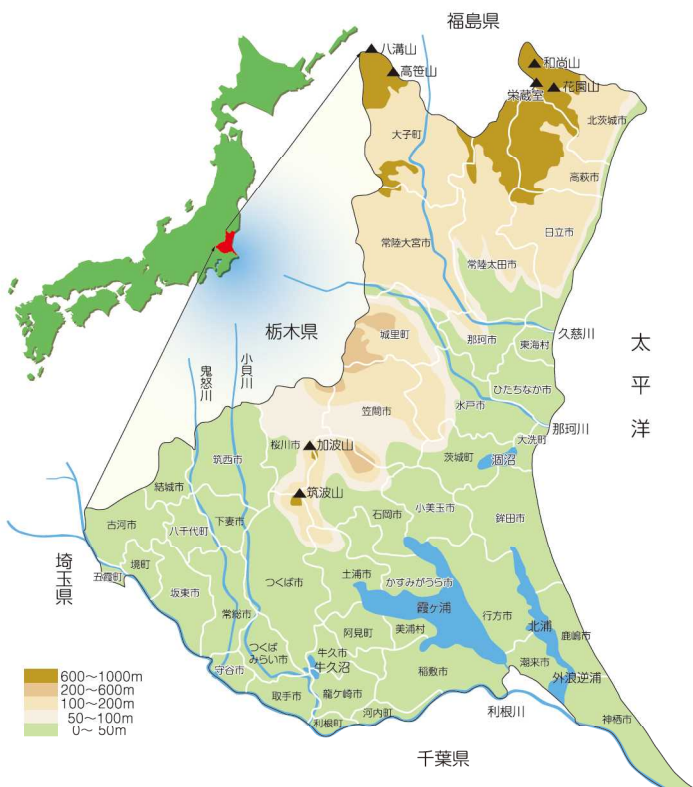
■茨城県の地形

北部から北西部にかけては、南北に阿武隈山地の南端部となる久慈山地・多賀山地の山々と八溝山地の山々が連なり、この間に山田川、里川、久慈川、那珂川とその流域の平地があります。八溝山地は北西県境にそびえる県内の最高峰八溝山(1,022m)にはじまり、南走して栃木県との境に起伏して加波山、筑波山に至っており、また多賀山地には、花園山、神峰山、高鈴山などがあります。

中央部から南西部にかけては、関東平野の一部である常総平野が広がり、そのなかを小貝川、鬼怒川が南流し、最南端を流域面積全国第1位の利根川が東流して、太平洋に注ぎ込んでいます。

南東部は、豊かな水をたたえた面積全国第2位の湖霞ヶ浦を中心とする水郷地帯となっています。

東部は、延長約195kmにおよぶ海岸線がのび、その間に茨城港(日立港区、常陸那珂港区、大洗港区)、鹿島港と漁業の拠点となっている大津、那珂湊、波崎等の漁港があります。



■茨城県のシンボル



県のマーク 県章

開きはじめた「ばら」のつぼみをデザインしたもので茨城県の「先進性」「創造性」「躍動」「発展」を表しています。平成3年11月13日に定められました。



県の花 ばら

茨城という地名にちなんで昭和41年3月28日に定められました。



県の木 うめ

県の木選定委員会が設けられ、県民から一番応募の多かった「うめ」が昭和41年10月6日に県の木として指定されました。



県鳥 ひばり

昭和40年の愛鳥週間に「県民の鳥」を公募し、一番応募の多かった「ひばり」が昭和40年11月3日に県の鳥に指定されました。



県魚 ひらめ

県のさかな選定委員会が設けられ、県民からの応募が最も多く、本県の重要な資源である「ひらめ」が平成7年6月1日に県の魚に定められました。

県の面積は6098.32km²で全国第24位ですが、平坦であるため可住地面積は、約3888.92km²と全国第4位の広さを持っています。

■茨城県の人口・世帯・面積

項 目	世帯数 (世帯)	総人口 (人)	面積 (km ²)
茨城県計	1,243,151	2,795,677	6098.32

項 目	世帯数 (世帯)	総人口 (人)
市 部		
水戸市	127,149	265,583
日立市	75,999	161,351
土浦市	67,928	141,547
古河市	59,354	136,464
石岡市	28,939	68,698
結城市	20,275	48,707

龍ヶ崎市	33,923	74,441	筑西市	39,871	96,844
下妻市	17,814	41,273	坂東市	20,000	50,596
常総市	23,679	58,414	稲敷市	14,769	35,817
常陸太田市	18,812	44,248	かすみがうら市	16,104	38,417
高萩市	11,299	25,227	桜川市	13,589	35,782
北茨城市	17,041	38,722	神栖市	42,717	93,492
笠間市	30,216	70,470	行方市	11,318	29,610
取手市	48,473	103,383	鉾田市	19,441	44,059
牛久市	36,867	83,268	つくばみらい市	21,918	51,505
つくば市	124,271	260,224	小美玉市	19,088	46,664
ひたちなか市	69,283	152,520	東茨城郡		
鹿嶋市	28,879	64,251	茨城町	12,068	29,655
潮来市	10,917	25,806	大洗町	6,743	14,610
守谷市	29,603	70,044	城里町	6,946	16,654
常陸大宮市	15,538	36,199	那珂郡		
那珂市	21,715	51,985	東海村	16,239	37,578

久慈郡		
大子町	5,996	13,670
稲敷郡		
美浦村	5,949	13,643
阿見町	22,407	50,362
河内町	2,842	7,302
結城郡		
八千代町	7,805	20,263
猿島郡		
五霞町	3,068	7,555
境町	9,444	23,899
北相馬郡		
利根町	6,855	14,875

世帯数・総人口は令和7年4月1日現在
総面積は令和7年1月1日現在
可住地面積は令和5年10月1日現在
資料：茨城県常住人口調査
国土地理院『全国都道府県市区町村別面積調』
総務省統計局『社会生活統計指標』

■茨城県の歴史・文化・伝統工芸

■ 歴史

History

茨城県は、古来から多くの人々が豊かに暮らしており、約1,300年前に編纂された常陸国風土記に「土地広く、土が肥え、海山の産物もよくとれ、人びとは豊かに暮らし、常世の国のようだ」と書かれていました。

中世においても、この地域には有力な武将が居を構え、近世（江戸時代）には、水戸藩や土浦藩などの諸藩や天領が置られました。また、近世には、全国的に多種多量の物資が水陸交通を通して流通しましたが、本県域も全国経済圏の重要な拠点として発展し、学問や芸術が栄えました。

江戸幕府崩壊後、1871年の廃藩置県により、水戸県や土浦県など16の県が設置され、同年11月、県の統廃合により、初めて「茨城県」が誕生しました。その後も統廃合が進み、1875年5月にほぼ現在の規模の茨城県になりました。



11月13日 茨城県民の日

県民の日は、18/1（明治4）年11月13日に「茨城県」という県名が初めて使われたことにちなみ、県民一人一人が郷土茨城についての理解と関心を深め、より豊かな生活と県の発展を願う日として、1968（昭和43）年に定められました。

常陸国風土記とは

風土記は、諸国の文化、伝承、地理などを記した地方誌のこと。713年（奈良時代）、元明天皇より諸国に編纂の詔が出されました。現存しているものは全国で5つ（常陸国・出雲国・播磨国・豊後国・肥前国）だけで、常陸国風土記は東日本で唯一残る貴重な文化遺産といわれています。常陸の名の由来をはじめ、筑波山や鹿島神宮など、各地の由来や伝説などについて記されており、1300年の時を超えた歴史ロマンを感じさせてくれます。



写真提供：茨城県立歴史館

■ 文化

Culture

茨城県には、偕楽園や鹿島神宮などの文化遺産が各地に遺されています。また、日本画の横山大観、近代陶芸の板谷波山、童謡作詩の野口雨情などの偉大な先人を多数輩出しました。

これらの文化的風土に育まれた伝統を踏まえ、本県は近代美術館、自然博物館、アクアワールド大洗などでの企画・展示や県芸術祭の文化芸術活動を活発に行っています。

人々の価値観の多様化が進む中、人と人との絆の大切さが再び強く意識されるようになり、物の豊かさに加えて心の豊かさ、潤いのある生活を実現することが求められています。県では2015年12月に制定した茨城県文化振興条例に基づき、県民一人一人が主役となった本県文化の振興に取り組んでいます。



▲東国三社の一つに数えられている鹿島神宮

■ 伝統工芸

Traditional handicrafts



結城紬

結城市・八千代町・下妻市・筑西市

（S31 重要無形文化財指定・S52 国伝統的工芸品指定・H22 ユネスコ無形文化遺産登録）

千年を超える歴史を持つ結城紬は、糸つむぎや機織り等、その工程のほとんどを手作業で行っており、優れた品質と肌触りや風合いの良さを生む技術が、いまなお厳格に受け継がれています。



笠間焼

笠間市ほか8市2町

（H4 国伝統的工芸品指定）

江戸時代に遡る歴史を持つ笠間焼は、伝統を受け継ぎながらも作家の個性を重んじ、新たな技法や発想を柔軟に取り入れる自由闊達な空気の中、伝統的な器に限らず、芸術的な作品まで広範囲に創作が及んでいます。



真壁石燈籠

桜川市

（H7 国伝統的工芸品指定）

室町時代末期に始められた仏石作りが起源とされ、柔らかく繊細な彫刻と重厚かつ堅牢な存在感が特徴であり、苔がつくことで一段とその持ち味が生かされ、日本庭園等に優雅さと趣を醸し出します。

■茨城県の産業 農林水産業 / 商工業

茨城県の農林水産業「豊富な農林水産物の魅力発信」

【農業】 本県は温和な気候と広大で平坦な農地に恵まれ、農業が盛んです。

令和5年農業産出額では、米が16%、園芸が51%、畜産が30%を占めており、大消費地である首都圏に位置しているなどの有利な条件を生かして、野菜、果樹、花き等の生産が盛んにおこなわれていることから、園芸の割合が高くなっています。野菜ではかんしょやピーマン、メロン、れんこんなど全国第1位の産出額を誇る品目が数多くあり、梨やくり、米やほしいもの生産も盛んな全国有数の農業県です。

また、銘柄畜産物として常陸牛、常陸の輝き、ローズポーク、奥久慈しゃもなどが生産され、特に常陸牛は首都圏を中心に評価が高まっており、タイ、ベトナム、シンガポール、アメリカへ輸出もされています。

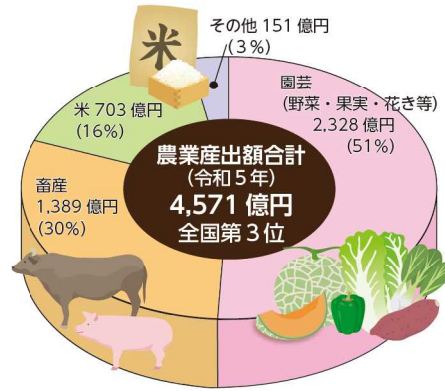
このように多種多様な農業が営まれ、本県は、農産物の一大生産拠点として、首都圏の食料供給に重要な役割を担っています。

【林業】 本県の森林面積は、約19万haで、県土面積の約3分の1を占め、県北部を中心とする山岳林と、県中央部から南西部にかけての平地林に区分されます。

山岳林は、スギ、ヒノキなどの人工林を中心に本県の代表的な林業地帯を形成し、平地林は都市近郊に位置することから都市住民の憩いの場など、生活環境保全のための森林としての役割を担っています。

【水産業】 本県は、約195kmにおよぶ海岸線を有し、その沖合では黒潮と親潮が交錯し、好漁場が形成されています。沖合漁業ではまいわしやさば類、茨城あんこう、沿岸漁業ではしらすやひらめ、鹿島灘はまぐりなどが漁獲され、海面漁業生産量は全国第3位（令和5年）となっています。また、水産加工品の生産も盛んです。

全国第2位の広さを持つ霞ヶ浦や、涸沼、那珂川、利根川などの湖沼や河川での内水面漁業も盛んで、あゆやわかさぎ、しじみなどが漁獲されています。



（令和7年3月25日現在）
出典：農林水産省「生産農業所得統計」

農産物 単位：億円、%（令和5年）

順位	品目	産出額	全国シェア
全国第1位	かんしょ	343	31.3
	ピーマン	143	22.6
	メロン	142	20.8
	かんしょ切干	99	99.0
	れんこん	88	45.8
	こまつな	66	21.9
	切り枝	51	20.1
	みずな	49	41.2
	芝	41	55.4
	くり	26	22.2
全国第2位	チンゲンサイ	25	25.3
	鶏卵	495	6.5
	ねぎ	138	9.2
	はくさい	123	25.2
	レタス	119	15.3
	日本なし	71	9.9
	もやし	22	4.0
	みつば	10	12.2
	そば	7	9.1
	らっかせい	7	8.8
全国第3位	ほうれんそう	64	8.1
	にら	37	11.2
	スイートコーン	25	7.3
	マッシュルーム	9	11.8
	こんにゃくいも	1	1.9
	みょうが	1	1.1

水産物 単位：トン、%（令和5年）

順位	品目	生産量	全国シェア
全国第1位	まいわし	228,474	33.0
	あゆ（内水面）	318	18.7
	うなぎ（内水面）	13	23.6
	えび類（内水面）	80	50.6
	こい（養殖）	667	38.7
全国第2位	しらお（内水面）	38	19.0
	はぜ類（内水面）	8	10.3
全国第3位	こい（内水面）	7	7.1
	ふな（内水面）	11	3.9
	しじみ（内水面）	1,328	14.4

茨城県の商工業「競争力あふれる産業大県づくりの推進」

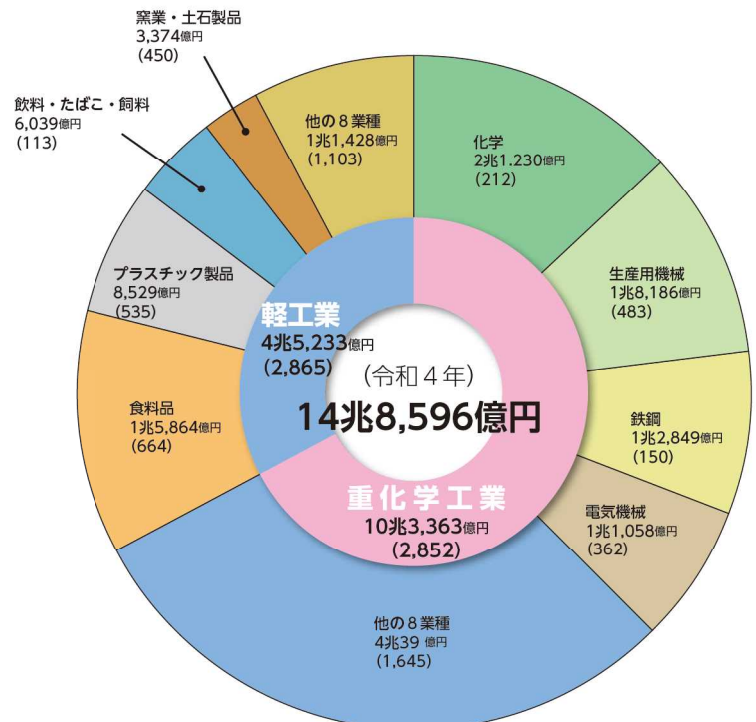
茨城県の商工業は、積極的な企業誘致による工業団地、住宅団地の整備にも支えられ、順調に発展してきました。特に工業においては、県北地区の電気機械を中心にしたものづくり産業や、国内有数の産業集積を誇る鹿行地区の鹿島臨海工業地帯に加え、県西地区における自動車関連産業、つくば地区の最先端科学技術など、全国でも指折りの工業県となっています。

工業の現状を製造品出荷額等からみると、令和4年は全国第7位の14兆8,596億円でした。業種別では、化学が14.3%で最も多く、以下、生産用機械12.2%、食料品10.7%、の順となっており、これら3業種で全体の3分の1を超えています。

労働力人口の減少や業界の再編など経済・産業構造の変化が進む中、産学官の連携による新技術・新産業の創出や、デジタル技術を活用したビジネス創出が進められています。

一方、商業の現状を年間商品販売額でみると、令和4年は全国第14位の7兆1,174億円でした。社会構造の変化や消費者ニーズの多様化が進む中で、サービス産業の生産性向上や地域社会の課題への対応に軸足を置いた地域商業の振興が求められています。

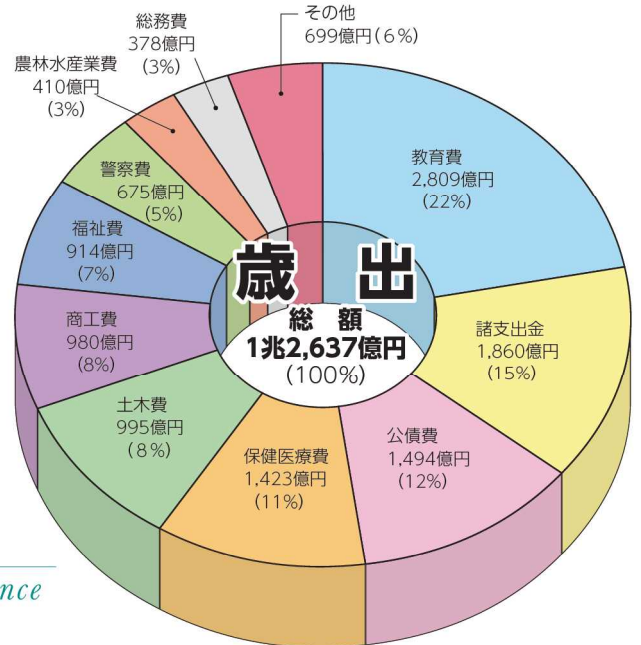
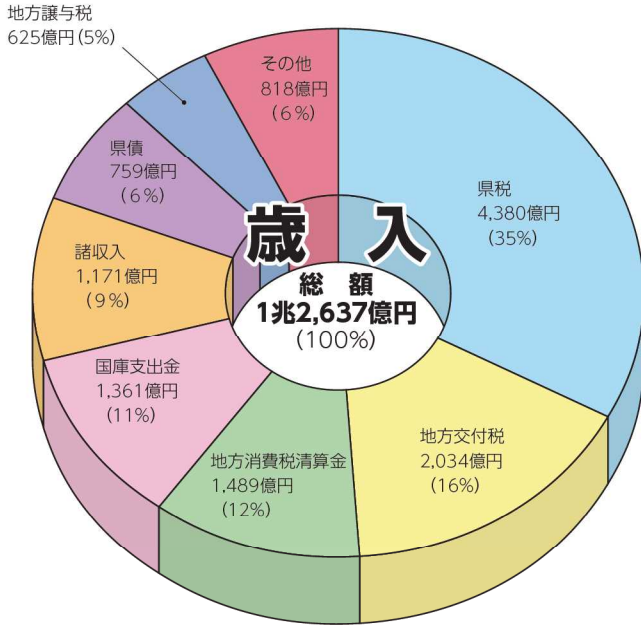
■産業中分類別事業所数・製造品出荷額等（全法人事業所）（令和4年）



事業所数総計 5,717か所（令和5年6月1日現在） 資料：総務省・経済産業省 2023年経済構造実態調査（製造業事業所調査）

※製造品出荷額等の内訳については単位未満を四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は一致しない場合があります。
※（ ）内の数値は事業所数を示します。

■茨城県の財政・組織



■財政

令和7年度予算

Finance

■県の組織

A prefectural organization

県議会

茨城県内に住む人々によって選出された議員が、県の予算・条例等について審議・決定する。

知事

議会で審議した条例や予算に基づいて実際に仕事を進める。各部、各課所で仕事を分担している。

副知事 (2名)

各部局

- 総務部
- 政策企画部
- 県民生活環境部
- 防災・危機管理部
- 保健医療部
- 福祉部
- 営業戦略部
- 立地推進部
- 産業戦略部
- 農林水産部
- 土木部
- 会計事務局

公営企業管理者

企業局

市町村への水道用水の供給や、工業用水の供給などを行う。

病院事業管理者

病院局

県立病院の運営を行う。

行政委員会 県の仕事のうち、特に公平で中立であることが求められるものは、何人かの委員で協議しながら業務を行っている。

教育委員会

教育庁

公安委員会

警察本部

その他行政委員会

選挙管理委員会 監査委員 人事委員会 労働委員会
茨城海区漁業調整委員会 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会
内水面漁場管理委員会 収用委員会

■第2次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～（4年間／2022～2025年度）

令和4年度からの4年間（将来構想は2050年頃を展望）の県政運営の基本方針となる第2次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～を策定しました。

県民の皆さんには、この計画を「自分のこと」として考え、ともに「新しい茨城」づくりに取り組んでくださいますようお願いいたします。

茨城の将来像

基本理念

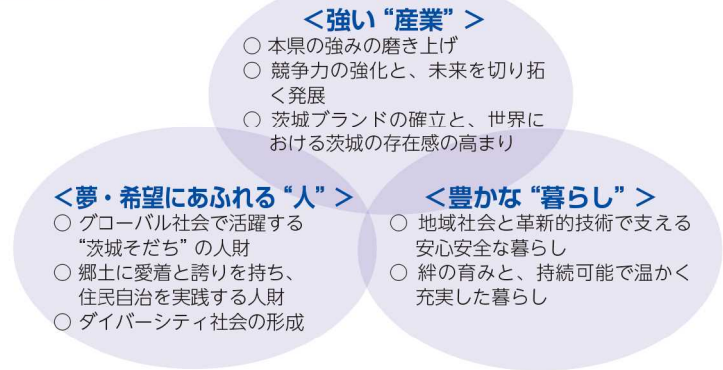
活力があり、県民が日本一 幸せな県

人口減少・超高齢社会を迎える中、ポストコロナをしっかりと見据え、県民一人ひとりが本県の輝く未来を信じ、「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増えるような、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦します。



茨城のグランドデザイン（2050年頃）

茨城の将来像



県土を支える社会資本

<道路・鉄道・公共交通機関>

- ◆ 広域交流と地域間連携を支えるネットワークの構築
- ◆ 三大都市圏等とのアクセス性向上と、県内への波及

<港湾・空港>

- ◆ 産業を支え国内外と夢をつなぐ首都圏のニューゲートウェイ

<暮らしを支える社会資本>

- ◆ 県民の命と財産を守る社会資本の整備・長寿命化

「新しい茨城」づくりに向けた4つのチャレンジ

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、4つの「チャレンジ」を推進します。

「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- ◆ 質の高い雇用の創出
- ◆ 新産業育成と中小企業等の成長
- ◆ 強い農林水産業
- ◆ ビジット茨城 ～新観光創生～
- ◆ 自然環境の保全・再生

「新しい安心安全」へのチャレンジ

- ◆ 県民の命を守る地域保健・医療・福祉
- ◆ 健康長寿日本一
- ◆ 障害のある人も暮らしやすい社会
- ◆ 安心して暮らせる社会
- ◆ 災害・危機に強い県づくり

「新しい人財育成」へのチャレンジ

- ◆ 次世代を担う「人財」
- ◆ 魅力ある教育環境
- ◆ 日本一、子どもを産み育てやすい県
- ◆ 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城
- ◆ 自分らしく輝ける社会

「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- ◆ 魅力発信No.1プロジェクト
- ◆ 世界に飛躍する茨城へ
- ◆ 若者を惹きつけるまちづくり
- ◆ デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ◆ 活力を生むインフラと住み続けたいまち

いばらき幸福度指標

●県では、県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられることが幸せな状態であると考えます。

●そのような環境の整備・充実状況について、県民生活と関係が深く、個人の幸福と相関があると考えられる政府統計データ等42指標により、定量的に把握しています。

いばらき幸福度指標によるランキング2024

チャレンジ別

豊かさ	4位	安心安全	42位
人財育成	11位	夢・希望	15位

総合

茨城県 13位



【指標の例】 県民所得（県民一人当たり）、健康寿命、子どものチャレンジ率、若者就職者超過率 等

■茨城の交通ネットワーク 陸・海・空



1 茨城空港

(小美玉市)

茨城空港は、平成22年3月に開港しました。現在は、札幌、神戸、福岡、那覇への国内線と、中国、台湾、韓国への国際線が就航しており、北関東の空の玄関口として、多くの観光客等を受け入れております。

空港ターミナルビルでは、出発ロビー、到着ロビーを1階に集約しており、フロアを移動することなく航空機へ搭乗できるため、高齢の方やお子様連れの方も快適にご利用できます。

2 茨城の港

(日立市・東海村・ひたちなか市・大洗町・鹿嶋市・神栖市)

2-1 茨城港

(日立港区・常陸那珂港区・大洗港区)

茨城港は、日立港区・常陸那珂港区・大洗港区の3港区で構成しています。

各港区の特長を活かし、建設機械・完成自動車などの輸出入拠点やフェリー・クルーズ船の寄港など物流・交流拠点として発展を続けています。

2-2 鹿島港

鹿島港は世界有数の掘込港湾で、首都・東京へ1時間あまりで連絡でき、首都圏の東の玄関口となっています。鹿島臨海工業地帯の原材料や製品の海上輸送基地として役割を担っています。

穀物の輸入量は全国第1位であり、私たちの食生活にも深く関わっています。



3 つくばエクスプレス沿線のまちづくり

(つくば市・つくばみらい市・守谷市)

つくばと秋葉原を最短45分で結ぶつくばエクスプレス (TX) は平成17年8月の開業以降、多くの方々に利用されています。沿線地域では新しいまちづくりが進み、住宅や商業施設が多数立地するとともに人口増加の傾向が見られるなど、賑わいを見せています。今後も人・モノ・情報の交流がますます活発になり、地域の一層の発展が期待されています。

4 県土を支える4本の高速道路

高速道路は、豊かで活力ある地域社会の形成及び広域的な連携を支えるうえで必要不可欠な基盤施設です。

県内には常磐自動車道 (常磐道)、北関東自動車道 (北関東道)、首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)、東関東自動車道水戸線 (東関東水戸線) の4本の高速道路があり、このうち、東関東水戸線の未開通区間の整備や圏央道の4車線化が進められています。

■施設のご案内



5 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

(坂東市)

自然豊かな菅生沼のほとりに立地する博物館です。「進化する宇宙」や「地球の生い立ち」、「自然のしくみ」などを展示する常設展示と年に3回程度開催する企画展示では、自然の偉大さや不思議さを学ぶことができます。



6 アクアワールド茨城県大洗水族館

(大洗町)

サメの飼育種類数日本一を誇り、約20,000匹のイワシが光と音に合わせて躍動する「IWASHI LIFE」、ペンギンなどを間近で観察できる「オーシャンテラス」など見どころが満載。令和6年3月には当館生まれのミズクラゲたちが揺らめく「くらげ 365」が新たな映像と香りの演出により、没入感たっぷりの新しい「美しき新世海」として生まれ変わりました。



7 茨城県陶芸美術館

(笠間市)

笠間芸術の森公園内にある陶芸専門の美術館です。板谷波山や松井康成など国内で優れた業績を残した陶芸家の作品を常設展示しています。また、国内外で活躍する近現代の作家の作品を鑑賞できるよう、幅広いテーマで企画展を開催しています。

イラストマップ

■袋田の滝
大子町



■茨城県立歴史館
水戸市



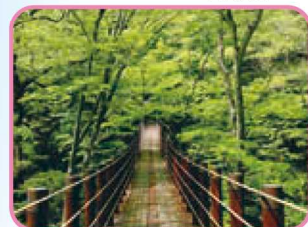
■偕楽園
水戸市



■六角堂
北茨城市



■花貫溪谷
高萩市



■国営ひたち海浜公園
ひたちなか市



■大洗海岸
大洗町



■古河総合公園
古河市



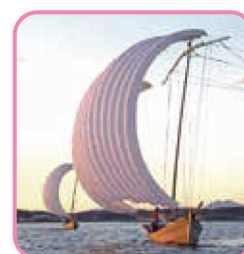
■いばらきフラワーパーク
石岡市



■筑波山



■霞ヶ浦



■県庁舎のご案内

■県庁見学ご案内

*開庁日に見学していただける施設は、次のとおりです。

県庁舎	県政広報コーナー 1	2階(所要時間) 5分
	県政広報コーナー 2	2階 10分
	アトリウム	11階 5分
	展望ロビー	25階 10分
県議会議事堂	議会PRコーナー	1階 5分
	傍聴席	5階 5分

※議会開催中は除く。

県警察本部庁舎	広報センター	2階 15分
---------	--------	--------

*事前予約が必要な施設は、次のとおりです。

県庁舎	県政シアター	2階 15分
	防災センター	6階 15分
県警察本部庁舎	通信指令室	4階から 10分
	交通管制センター	4階から 10分

*団体で案内をつける県庁舎の見学を希望される場合には、事前にお電話による予約が必要です。詳しいことは、お問い合わせください。

●団体見学受付 TEL 029-301-1111(代) 内線2135

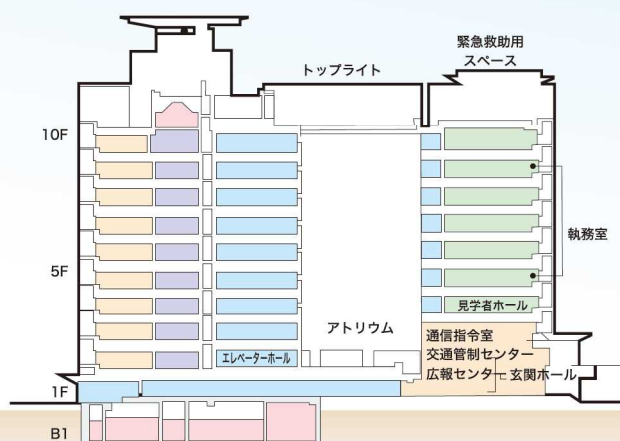
*バスでお越しになる場合には、係員の指示によりバス駐車場をご利用ください。

*県警察本部庁舎の見学は、県警察本部県民安心センターへお問い合わせください。

●県警察本部 TEL 029-301-0110(代)

■着工	平成8年1月
■竣工	平成10年12月(外構等竣工 平成11年3月)
■開庁	平成11年4月8日

県警察本部庁舎



県政広報コーナー (県庁舎2階)

県民の皆さんと県との交流の場です。
生活に必要な情報や県の仕事に関する情報を提供しています。

●県政広報コーナーは自由に見学できます。

開庁日/8:30~17:00 閉庁日/10:00~17:00



◆県政広報コーナー 1

茨城県内で開催されているイベントや、県内のプロスポーツチームやテレビ・映画のロケ地などを紹介しています。
休憩スペースも利用できます。



◆県政広報コーナー 2

県が取り組んでいる様々な仕事を、広報パネル等を使って、紹介しています。



◆県政シアター

大きな画面で、県の仕事や将来の姿などを紹介する映像を見ることができます。

防災センター (県庁舎6階)

洪水や地震などの災害から県民を守り、被害を少なくするために、すばやく情報を集め、災害対策をします。

●見学には予約が必要です。(開庁日のみ)



行政情報センター (県庁舎3階)

県の仕事に関する資料を揃えています。
自由にご利用ください。

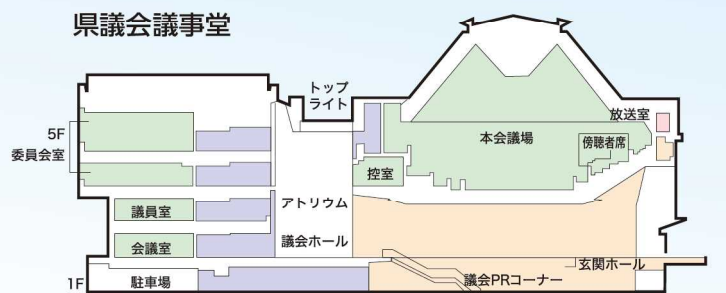
開庁日/8:30~17:00



■ 建物概要

敷地面積	約15ha		
建築面積	6,800㎡	県議会議事堂 4,400㎡	県警本部庁舎 2,700㎡
延床面積	81,000㎡	16,200㎡	24,900㎡
階数	地上25階 地下2階	地上5階	地上10階 地下1階
高さ	116m	39m	49m
主な構造	鉄骨造	鉄鋼鉄筋 コンクリート造	鉄骨造
主な外観	花崗岩・タイル	花崗岩	花崗岩・タイル

県議会議事堂



展望ロビー（県庁舎25階）



地上約100mの高さから、茨城県の風景を眺めることができます。パネルなどを使って展望案内や、茨城の自然を紹介しています。

●展望ロビーは自由に見学できます。

開庁日
9：30～22：00

閉庁日
10：00～22：00



県庁25階展望ロビーから見える風景

水戸市内など関東平野の様子がよく見えます。

西



【北方向】

水戸市街
偕楽園
水戸芸術館
日立エレベーター研究塔
など

北



【西方向】

筑波山
加波山
笠間市
日光連山など

【東方向】

太平洋
大洗マリントワー
ひたち海浜公園
など



南



【南方向】

土浦市
筑波研究学園都市
牛久大仏
など

東





- 【バス】** 県庁直行のシャトルバスを運行
 JR水戸駅〔南口〕から 約6.6km 所要時間/約15分～20分 (土、日、祝日は休み)
 JR赤塚駅〔南口〕から 約7.2km 所要時間/約20分～25分 (土、日、祝日は休み)
- 【自動車】** 常磐自動車道水戸ICから約9.0km 所要時間/約15分
 北関東自動車道茨城町東ICから 約4.0km 所要時間/約10分

■広報案内

- テレビ** 「いばらき推し」
 テレビ朝日 毎週金曜日 10:20頃 2分間 (本編)
 毎週水・木曜日 5:50頃 30秒間 (ダイジェスト版)
 いばらきの特産品や観光スポットなど、本県の魅力を紹介します。

- ラジオ** Lucky FM FM94.6MHz (水戸) 88.1MHz (つくば、日立)
 AM1197kHz

題名	放送時間
ラジオ県だより ～県民情報コーナー～	県の施策や催し物のお知らせ (5分間) 月～金曜日 7:30 11:55 17:55
県政スポット	県の施策をCM風に紹介 (各時報前の20秒) 月～金曜日 8:00 10:00 18:00

- ホームページ** <https://www.pref.ibaraki.jp/>
 県政情報を掲載し、発信しています。

- X・Facebook・LINE**

X : @Ibaraki_Kouhou

Facebook : 「茨城の魅力を伝えたい」

LINE : 「茨城県庁」



▲ホームページは
こちら

- 広報紙「ひばり」** 年12回発行
 主に新聞折り込みにより配布しています。
 ホームページからご覧いただけます。



▲詳しくはこちら

- 点字版「ひばり」・声の広報「ひばり」**
 点字版「ひばり」と声の広報「ひばり」(CDやカセットに内容を収録)を、
 視覚障害がある方に、希望により配送や貸し出しを行っています。
【問】 茨城県視覚障害者協会 TEL 029-221-0098
 声の広報は、ホームページからお聞きいただけます。
<https://www.pref.ibaraki.jp/koho/koho/kemposhi-hibari/hibarisp/index.html>

- YouTubeチャンネル「いばキラTV」**
<https://www.youtube.com/@IbakiraTvCH>

観光地やグルメ、地域情報
 など茨城県のさまざまな魅
 力を動画で紹介。VTuber
 やインフルエンサーの企画
 も多数配信。



YouTube

※パソコン・スマートフォンなどからご覧いただけます。

茨城県総務部知事公室報道・広聴課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6
 TEL 029-301-2140 FAX 029-301-2169
<https://www.pref.ibaraki.jp/>